

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成19年7月26日(木)

開会 9時30分

閉会 12時00分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 山根一枝委員長、丹保健一委員、竹下讓委員、井村正勝委員、安田敏春教育長

欠席者 無し

4 出席職員

教育長 安田敏春(再掲)

副教育長兼経営企画分野総括室長 鎌田敏明

教育支援分野総括室長 東地隆司 学校教育分野総括室長 坪田知広

生涯学習分野総括室長 杉野周二 研修分野総括室長 山中良明

経営企画分野

教育総務室長 真伏利典 教育改革室長 中谷文弘 教育改革室副室長 丹羽毅

教育改革室主幹 北原まり子

教育支援分野

人材政策室長 増田元彦 人材政策室副室長 望月順一 人材政策室副室長 川口朋史

学校教育分野

特別支援教育室長 梶原久代 特別支援教育室副室長 大原喜教

生涯学習分野

スポーツ振興室長 川畑幸永 スポーツ振興室指導主事 奥井達司

スポーツ振興室指導主事 熊野佳幸

5 議案件名及び採決の結果

件名	審議結果
議案第28号 三重県教育改革推進会議委員の任命について	原案可決
議案第29号 特別支援学校への教育部門設置について	原案可決
議案第30号 職員の懲戒処分について	原案可決

6 報告題件名

件名
報告1 中華人民共和国への日本語指導教員の派遣について
報告2 第57回三重県高等学校総合体育大会の結果について
報告3 平成19年度全国高等学校総合体育大会の開催について
報告4 平成19年度三重県中学校総合体育大会の開催について

7 審議の概要

・開会宣告

山根委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・ 前回教育委員会（平成19年7月11日開催）審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員承認する。

・ 議事録署名人の指名

丹保健一委員を指名し、指名を了承する。

・ 会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第28号及び議案第29号が意思形成過程のため、議案第30号が職員の懲戒処分のため、非公開にて審議することを承認する。

会議の進行は、公開の報告題1, 2, 3, 4を先に行い、その後、非公開の議案を番号順に審議することを確認する。

・ 審議内容

報告1 中華人民共和国への日本語指導教員の派遣について（公開）

（人材政策室長説明）

中華人民共和国への派遣教員の決定について、別紙のとおり報告する。

1ページをご覧ください。中華人民共和国への日本語指導教員の派遣について、三重県教育委員会と中国国家外国専門家局との間で締結した教員派遣協定に基づきまして、平成19年度に中国に派遣する教員の選考を行いました。

その結果、県内の高等学校から推薦のあった下記の者を派遣することと内定いたしました。この教員は平成19年9月1日から1年間、中国の大学で日本語の指導を行うこととなります。職員は県立いなべ総合学園高等学校の教諭、大井一郎、男性です。昭和42年1月18日生まれ40歳、本年度で17年目の勤続年数です。

少し説明をさせていただきますと、この国家外国専門家局との間の協定は、昭和62年に三重県との間で結びまして、それ以来、期間は1年ないし2年、それから毎年の派遣も2名、あるいは1名というように変遷をしてきましたが、本年度は津高校の松嶋節という教諭が現在行っていますが、本年度で17名を派遣してきました。この大井一郎は18人目の派遣ということになります。

それからこの協定書ですが、年限がございまして、現在の協定書は本年度で終わるということになっております。現在の協定書で行くこの教員は、最後の教員になるということですので、今後、さらに協定を続けていくのか、この辺りはこれからの検討の事項になっていくということです。

なお、この教諭は8月の末には中国の方へ出発しますが、行った後については、学校の方には臨時的に講師を配置して授業等には支障がないようにしております。以上でございます。

【質疑】

丹保委員

この案に反対というわけではないのですが、日本から派遣した場合の費用等についてはどうなるのですか。人材政策室長

費用につきましては、これは実は河南師範大学という所へ行くわけですが、渡航費用はその河南師範大学が持ちます。それから、向こうの生活費については、国家外国専門家局が毎月2600元、現在のレートで言うと大体4万円ちょっと程度の生活費を支給するというようになっております。

それから、空港までの往復については学校が出張という形で出すというような形で、費用の方はそうなっています。

なおこの教諭が行っている間、生活費は中国の方で出しますけども、日本の方の給与、これは別にこの者の口座に振り込まれるというような形になっています。

丹保委員

分かりました。

井村委員

この先生は何の先生なんですか。

人材政策室長

国語の専門でございます。一応要綱で、国語の専門家を向こうに派遣するというような形になっています。

丹保委員

河南師範大学で教えるわけですか。

人材政策室長

はいそうです。

丹保委員

それで、希望者が少ないとか多いとかという話を以前聞いたことがあるんですけど、今年はどうだったんですか。

人材政策室長

この者1名の希望者でした。

丹保委員

そうですか。

人材政策室長

その者について選考して、適任であるということです。

委員長

最近多いですが、外国人に日本語を教える教師の資格というものも持ってらっしゃるんですか。

人材政策室長

この者は、特に外国人に日本語を教える資格というものは持っておりません。ただ、中国の文学等には非常に関心が高い者でございまして、いろいろ自分で研究をして、いろんな所でも実践発表しているというような人でございます。

井村委員

前にもお伺いしたかと思えますけれども、昭和62年に結んで22年経っていますか。

人材政策室長

それで、63年の9月1日から派遣を始めております。

井村委員

20年間くらいの契約期間ということですか。

人材政策室長

契約期間そのものは、現在の契約は平成16年度に更新をしたという形で結んできていますので、4年間の契約で結んだものでございます。

井村委員

そうすると、もう更新はしないということなんですか。

人材政策室長

いえ、そのあたりはこれから検討していくということになるかと思えます。

井村委員

大体4年くらいのスパンで更新をしていくと。

人材政策室長

そうです。

委員長

その更新のことは、いつ頃か予定はございますでしょうか。

人材政策室長

切れるのが来年の8月末ということですので、その時期にはきちっとできるような形で進めていくことになると思います。

委員長

それは三重県だけの問題ではなくて。

人材政策室長

これは、三重県とそれから中国の国家外国専門家局との間での契約です。

委員長

分かりました。他の国際交流の関係は、生活部とかの関係は、中国との関係とかいうのはなくて、単独で県教育委員会との関係だけですか。

人材政策室長

はい、そうです。教育委員会との関係だけです。ただ河南省と三重県とは関係がありますので、全く単独で教育委員会だけがやっているということではございません。

委員長

他にはどうでしょうか。よろしいでしょうか。

【採決】

- 委員長裁決の結果、全委員が本報告を了承する。 -

報告2 第57回三重県高等学校総合体育大会の結果について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

第57回三重県高等学校総合体育大会の結果について、別紙の通り報告する。

この大会については、5月21日の教育委員会において、開催について報告をさせていただきました。5月25日から27日の間で、33種目に全日制高等学校、定時制高等学校、通信制高等学校、高等専門学校、専修学校から、85校、約1万五千人が参加して各地で開催されました。各種目において、高校生のはつらつとしたプレーにより熱戦が展開されまして、大会を無事終了することができました。

1ページに、学校対抗総合成績一覧、2面の2ページの方に種目別団体成績一覧を掲載してあります。各種目の成績上位校が、6月に開催されました東海高等学校総合体育大会に出場をしております。なお、この高校総体の表彰式につきましては、1ページの8番にありますように、学校対抗得点方式による総合成績表彰という形で、7月18日の水曜日に水産会館の方で行われました。鎌田副教育長の方から、教育委員会については表彰伝達をしていただきました。全日制、定時制各男女別に主催者の方から優勝旗、優勝杯、優勝盾、それから6位までに賞状と盾が授与されました。本年度の定時制、通信制女子の部で、6位以降が参加点のみで並んだため該当なしということで、5位までの表彰ということになりました。以上でございます。

【質疑】

委員長

今年の特徴とか、気が付かれたことはございますか。

スポーツ振興室長

学校対抗の方ですと、男子の一位が四日市工業高校なんですけども、これが4年連続ということで、それ以前は2位の三重高等学校が一位ということが多かったんですけども、ここのところ、四日市工業が勝ち続けているという状態になっております。女子の方も津商業高校が5年連続で一位と大変頑張ってもらっています。そんなところが目立っています。

委員長

分かりました。ありがとうございます。

竹下委員

この男子の方の四日市工業は突出してますよね。これは何か原因があるんですか。

委員長

そうですね、得点があまりに一位と二位の差がありますけど。

スポーツ振興室長

2ページの方の種目別の成績一覧でもご覧いただけたと思うんですけども、上位に四日市工業の名前がかなり出ているということで、1位、2位、3位というところにかんがりの種目が入っている関係で、高得点になっています。

竹下委員

先生を集めているとか。

スポーツ振興室長

指導者をですか。

竹下委員

四日市工業にスポーツのかなり優秀なとか、かなりチームをリードできる先生方を集めているというようなことはないですか。

スポーツ振興室長

集めているというか、沢山現実に優秀な指導者がお見えになります。

竹下委員

結果的にそうなっているというだけですか。意識的に集めたというわけではなくて。

スポーツ振興室長

意識的にということはないと思うんですが、伝統も守っていただいて頑張っていただいているということです。

井村委員

全般的に強いですね。

スポーツ振興室長

そうですね、ここ最近。

井村委員

どの競技でもね。平均的に強いというか。

委員長

もちろん相乗効果というのはあると思うんですよ。学校の雰囲気とかそれもあると思うんですけども、ここだけあまりに、2位以下のところとほとんど倍くらいの得点があって素晴らしいことなんですけども。

竹下委員

しかもこれは指導者は全員違うわけでしょ。

スポーツ振興室長

そうですね、種目別によって違います。

先ほどちょっと触れさせていただきましたが、数年前まで私学三重高校が、かなりスポーツに力を入れているということで、点数的には三重高校の方で四日市工業がかなわない部分というのがかなりありました。その辺が三重高校さんの学校の方針と言いますか、かなり学力の方に力を入れるという方針が打ち出されたというふうに聞いておりますので、その辺からちょっと様子が変わってきたのかなという気はしております。

井村委員

中京と提携してからくらい。

スポーツ振興室長

そうですね、その頃かと思います。

委員長

でもね、私の感想で言いますと、四日市工業がダントツに強くて、南の方も私立とかいうのはありますけれども、三重高校さんは松阪で、皇学館は伊勢で、宇治山田も伊勢で、そんなに北ばかりに集中しないでスポーツに関して一生懸命やりたいという生徒さんがこういう活動に入って発揮できるのは素晴らしいことだと思いますが、他にはどうでしょうか。まあ三重県ですから、全国大会とかを考えた時にやっぱり三重県独自のスポーツとして、せっかく海がある県ですから、そちらのスポーツが盛んであったらいいのにといい一般県民の声を私はよく聞くんですけども、でも生徒さんの好みとか風潮とか流行とかいろいろありますので、今も県大会頑張ってる、高校野球も必死でやってる最中ですから、こちらからはできないと思うんですけども、ちょっとでも三重県愛とか郷土愛とか、そういうところも考えるとですね、三重県のスポーツ、三重県ならではのスポーツというの、ちょっとはポイントを置けるようになれば素敵なのかなと私は思うんですが、文化ばかりではないと思うので、三重県愛は、はい、他に感想は皆さんよろしいでしょうか。

【採決】

- 委員長裁決の結果、全委員が本報告を了承する。 -

報告3 平成19年度全国高等学校総合体育大会の開催について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

平成19年度全国高等学校総合体育大会の開催について、別紙の通り報告する。

本大会については、スローガンが「この夏 佐賀に 君色の風が吹く」という1ページの中ほどにも掲げてありますが、そのスローガンの元で、7月28日土曜日から8月20日の間で、九州の佐賀県を中心に開催をされます。本県からは、中川安久高体連会長を団長に、44校から、男子263名、女子208名、合計471名の高校生が参加をします。開会式については7月28日に佐賀県総合運動場陸上競技場において開催をされ、本県からも安田教育長に参加をしていただきます。そして、選手団に対して開会式の前に激励をしていただくことになっております。

各種目においては、活躍が期待される種目として、団体種目は三重高校の男子ソフトテニス。また津商業高校の女子バレーボールが挙げられます。個人種目の方では、陸上競技、男子テニスの遠藤選手が本県の選手団の旗手を務めてもらうんですけども、まだ四日市工業の一年生なんですけども、かなり期待をされております。ソフトテニス男子、フェンシング、剣道といった種目で、東海の高校総体で上位入賞を果たしてありまして、全国総体での入賞が期待をされております。またこの8月の中旬に東京都を中心に全国の定時制、通信制体育大会が開催される予定となっております。以上でございます。

【質疑】

委員長

まだ暑い中ではありますけれども、思う存分力を発揮して好成績をあげていただきたいと思います。他の皆

様よろしいでしょうか。

【採決】

- 委員長裁決の結果、全委員が本報告を了承する。 -

報告4 平成19年度三重県中学校総合体育大会の開催について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

平成19年度三重県中学校総合体育大会の開催について、別紙の通り報告する。

この大会についても中学校の方は県の大会ですけども、スローガンがございまして、「鍛えよう 心と体 広げよう 友情の輪」というスローガンの下で、7月27日から7月31日を中心として、18種目に県内各中学校から約7千名が参加して開催されます。各競技種目会場と日程の詳細につきましては、2ページの方に載せてあります。総合開会式につきましては、明日7月27日金曜日、午前9時から鈴鹿市の体育館において、ハンドボール競技に出場する選手約330名が参加をして開催されます。大会本部につきましては、10番にありますが、津市立西橋内中学校内、三重県中体連事務局において記録、集計、問い合わせ等に対応します。委員の皆様もご都合がつかれましたら、会場等にご来場いただいて中学生の懸命なプレーにご声援をいただければと思います。以上でございます。

【質疑】

委員長

参加人数7千名というのは、すべての中学校が参加されるわけですか。

スポーツ振興室長

はい、これは、地区予選も含めてということです。

委員長

はい、分かりました。もう既に始まっていますね。

スポーツ振興室長

そうですね。

委員長

いろんなところで、私もいくつか見させていただきましたけれども、今年は最初は雨が多かったです、こここのところ天気なので、毎日熱戦が繰り広げられているようですね。そうしたらこの時が県大会最後の決勝になるのでしょうか。ハンドボールというのは、中学校でどれくらいの学校にあるんですか。

スポーツ振興室長

男子で、少ないんですけど10校ちょっとくらいですね。女子もその程度だったと思います。少ないです。

委員長

そうですね。固まっているんですか、地域は。

スポーツ振興室長

北勢地区が多いです。四日市地区、鈴鹿までくらい。

委員長

本田さんの影響もあるんですか。

スポーツ振興室長

確かに本田技研の影響も、OBの方が指導していただいたりということがありますので、少なからず影響はあるかと。

委員長

この前私も体育館の落成式の時に、初めてハンドボールの試合を見て、すごい迫力でした。まだハンドボールを知らない中学生も沢山あると思いますので、本物の大きい迫力のある試合を見れる知れる機会があるといいですね。県内にプロに近い素晴らしい企業チームがあるということですし。

井村委員

新体操は何人くらい出るんですか。この子たちは間に合うのかな。

スポーツ振興室長

学校数で言うと、3校だけですね。

委員長

3校だけ。

スポーツ振興室長

はい。まだまだアピールしないとという形です。

井村委員

10人から20人くらいですかね。

スポーツ振興室長

そうですね。人数的には15から20名くらいです。

教育長

あんまり学校対抗ではないですね。

委員長

クラブですね。

井村委員

しばらくちょっと、プッシュしないといけないですね。

スポーツ振興室長

中々芽生えてこないといえますか。

委員長

これに関してはいいんですけども、また機会がありましたら、三重県の民間のスイミングクラブとか、新体操クラブとかスポーツに関していろいろあると思うんですけども、そういう数とか地域的な分布図は分かるのでしょうか。

スポーツ振興室長

はい、調べれば分かると思います。

委員長

やっぱりそういうバックがあって、水泳にしてもかなり力を入れて、民間のクラブで鍛えられた子が中学校のこういう大会でと思うんです。ちょっとベースになるところを一度知りたいなと前から思っているものですから、また別の機会でもよろしいですので、その辺を教えてください。

丹保委員

駅伝の場所ですけど、これは陸上競技場で駅伝はやるんですか。最近のことはよくわからないので。

スポーツ振興室長

中学校の駅伝大会は陸上競技場、四日市の中央緑地の公園内で、陸上競技場を中心にですが、ランニングコースが2キロくらいの外回りのコースがありまして、そこでバトンをつないでします。

丹保委員

ではリレーみたいな感じですか。

スポーツ振興室長

そうですね。

井村委員

外には行かないわけですね。

丹保委員

そういういろんな事情があって、駅伝という感じじゃないですね。道路事情とかいろいろ規制のこととかあるんだろうと思って。私は中学校の頃駅伝をやったんですけど、ちょっとそういうので、今の子どもたちは道を走れないのかなと。

委員長

他にはどうでしょうか。よろしいでしょうか。

【採決】

- 委員長裁決の結果、全委員が本報告を了承する。 -

議案第28号 三重県教育改革推進会議委員の任命について（非公開）

教育改革室長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

議案第29号 特別支援学校への教育部門設置について（非公開）

特別支援教育室長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

議案第30号 職員の懲戒処分について（秘密会）

人材政策室長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。